えくてびあん

立川と語ろう　立川に生きよう
April 2018
Écoutez Bien　Vol.35　No.401

4

始まりました『データの時代』

表紙の人／東京うど三代（上砂町）

続・砂川深層 ⑯

玉川上水通船

案内人：豊泉喜一氏

現在の玉川上水の流れを見て、この川に百艘余りの船が往来していたとはどうしても想像できないが、明治の初期多摩川から羽村玉川上水を経て四ツ谷大木戸まで、およそ43㎞の間に船が行き来していた。実際に通船が行われたのは、明治3年4月15日から同5年5月31日までであったが、僅か2年余りで廃止になってしまった。

江戸時代の物流は馬が主体で他は大八車や人力により、大量の荷物は専ら船に頼っていた。そのため昭和時代まで「一駄」という荷物の単位が残っていた。一駄とは馬一頭が運べる荷物の量で、重量でいうと一駄は40貫（150㎏）、運ぶ物によって嵩や重さは違ってくるが、通常米なら2俵（120㎏）を一駄という。このように馬一頭で運べる量は限定されるが、船ならば馬数十頭分を一度に運べるので、多摩地域で生産される物産を、玉川上水を使って船で運ぼうという計画は、江戸時代から何回も企画され幕府に許可願が提出されていた。

しかし玉川上水は江戸市民の飲料水であり、通船により川が汚れることを理由に許可されなかった。ところが幕末の慶応から明治初め再三出願の結果、ついに明治3年通船許可が出て4月15日から通船が始まった。通船に使われた船は巾5尺（1.5ｍ）長さ4間（約7.2ｍ）10駄積で、つまり1艘で馬十頭分が運べる計算である。しかし、飲料用として掘られた玉川上水に船を通すには狭い場所は川幅の切り広げ、橋の嵩上げ、船溜まりや、引き船用通路の新設の他、数多くある分水口の統合などを解決する必要があった。

こうした難問を解決しても川幅が狭いため、下りは四と八の日に開かれる八王子の「市」の翌日、五と九の日に月6回、その他の日は上りに使われた。下りは1日で着くが、上りは船に綱をつけその綱を両岸から3日かがりで引張上げるという今日では何とも悠長な話である。船賃は下り銀6文、上り銀12文これに仮に一両、十万円で換算すると、下り6～7千円、上り1万4～5千円くらいになるだろうか。これが正しい計算かどうかわからないが、今日からみると随分高いように思える。従って下りはかなり利用者があったようだが、上りは歩いた方が速い上、料金が倍もするので利用者は少なかったようだ。

この通船事業には多摩の各村々22ヶ所で104艘の船を持っていたが、この事業の中核となって推進した砂川村、福生村、羽村の名主で104艘のうち6割以上の64艘を所有していたようだ。

結局通船により玉川上水が汚れるとの理由で、明治5年5月31日僅か2年余りで通船は禁止になってしまった。以後明治8年まで毎年、その後も再三通船の再開を願い出たが許可が出ることはなかった。

その後、新宿から五日市街道沿いに砂川、羽村、八王子間に馬車鉄道の許可が出たが、結局実現せず、それが後に甲武鉄道として現在の中央線が実現、玉川上水通船はそのきっかけを作ったともいえる。

羽村の取水口　ここから四谷大木戸までの高低差は約90ｍしかない

砂川家に近い見影橋付近　この辺りに船をつける巴河岸があったそうだが定かではない

玉川上水駅の東側　玉川上水が昔ながらの姿を見せている

［インタビュー］

きらり！この顔

Tachikawa Inside Outside
あの人、この人、立川人 52

統計数理研究所シリーズ〈データの時代〉①

データで明るい未来を創り出す

統計数理研究所　副所長・工学博士　伊藤 聡 氏

むずかしそうで近寄りがたかった統計数理研究所。
うかがってみると、もっと知りたい、もっと聞きたいの連続だった。

伊藤 聡（いとう さとし）**氏**

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所
副所長・教授

1962年千葉県生まれ。1985年慶應義塾大学理工学部計測工学科卒業。1987年慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程、1991年慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程修了。統計数理研究所予測制御研究系助手、ノースカロライナ州立大学数学科客員助教授、統計数理研究所統計計算開発センター助教授、統計数理研究所数理・推論研究系助教授／准教授などを経て、2011年より統計数理研究所数理・推論研究系教授。2015年より統計数理研究所副所長（兼務）。

——やっぱり統計数理研究所というと、わかりにくいイメージです。

伊藤　わかりにくいと言われるのは、「物」がないからでしょう。極地研のように「岩石」や「氷」などがあればわかりやすい。

——極地研は科学館を作るくらい「物」がありますし、国文研も資料館ですものね。

伊藤　情報・システム研究機構には4つの研究所があります。極地研や遺伝研（国立遺伝学研究所）はデータを作るところ、情報研（国立情報学研究所）や我々統数研はデータを解析するところと考えていいかもしれません。

——わかるような、わからないような。

伊藤　気候変動は、極地研では気候変動の証拠がみつかったというものが研究対象になりますが、統数研では「気候変動のリスク評価」と言って——これは、ある地域で何年かの間に気温が2℃上昇する確率地図を初めて作ったという研究です。

極地研や国文研は、学問の内容自体はそう変わらないと思います。でも、統計数理という学問は10年前、20年前とその内容がガラリと変わる。そこが他の学問や研究所と違うところだと思います。縦のドメイン寄りの研究と、横の方法論の研究との違いです。統計数理という学問はとても幅が広いのです。

——たしかに、統数研にはあらゆる分野の先生方がいらっしゃいます。

伊藤　今までは大学に統計学科がなかったということで、いろいろな分野、いろいろな学科に統計の講座があり、そこでそれぞれが統計学を学んできているからです。それが日本の特徴です。学科がなかったということは悪いばかりではなくて、多様性を持つという意味ではよかったという面もあります。

——統数研さんには、文系の先生もいらして驚きです。

伊藤　統数研の1/4は文系あるいは文系寄りなんじゃないですかね。結構多いですよ。

——伊藤先生ご自身は何の研究をされているのですか？

伊藤　僕は「最適化」と呼ばれる分野です。

——最適化？

伊藤　人間の究極の目的です。最適化ということは無駄なことをしなくなるということ。意思決定する、何か決めたい時に満たさなきゃならない条件をクリアして、最適に決める。普通はオプションなどあって、あれもこれもと多目的になり、単一ではなくなりがちです。相反する目的を達成することはできませんが、その意思決定の補助をする、材料提供するわけです。かなり普遍的な方法論ですね。企業を例にとると、利益を上げることが目的だとすれば、利益を最大にする、コストを最小限にするなど、目的達成のための方法を考えるわけです。

——もっと具体的には？

伊藤　いろいろなところに使われているんですよ。例えばスポーツ。プロ野球2リーグ、クライマックスシリーズのクリンチナンバーの計算は、実際に共同通信社と一緒にやっています。いろいろな企業から、年間何十件も相談を受けます。企業の仕事を奪うようなことはできませんが、日本の産業界全体の底上げが統数研の使命のひとつだと思っていますから、共同研究、学術指導は積極的にやっています。

——なるほど。スポーツもデータの時代なんですね。

伊藤　もちろんです。最近はどんなスポーツでも監督やコーチがタブレットを持っていますよね。あれはデータを見てるんです。

——そうしないと勝てない時代なのでしょうか。

伊藤　そうですね。きちんと解析をして調べている所があったら、そこにはやっぱり勝てないです。データは正直ですから。

我々のやりたいことは実世界の現象を解明すること、これが第一です。統計数理とは本質的な情報を抽出し、そのデータに基づいて予測、知識獲得、意思決定を行うための方法を対象とする学問のことで、最適化も意思決定を行うための方法論だといえます。

——よくある社会調査やアンケートなどもそうですか？

伊藤　時代によって変わってくるんです。モデルの設計をするには、目的にあったデータが必要です。そのためにデータを収集するということは昔からやっていることで、社会調査もそのひとつです。ところが最近のビッグデータと言われるものは、目的以前にデータが集まってきてしまう。車も走れば、路面データとか交通量、渋滞状況などあらゆるデータが集まる。データの方が先に来てしまうわけです。そうすると、集まってきたデータで何ができるのかと考えるようになってきます。今から10年くらい前は「こんなデータがたくさんあるのですが、何か商売につながりませんか？」という相談が結構ありました。ところがさらに時代が進み現在になると、計算環境が変化してベイズ統計、MCMC（マルコフ連鎖モンテカルロ法）とか、カタカナが多くて恐縮なんですが、スパースモデリング、カーネル法、メタアナリシスなどといった理論や方法に変わってきて、これがやりたいから最低限このデータだけは絶対に集めましょうとなってきています。社会調査のようなものから、今は機械学習的なもの、AIのベースになっているものですね、そういうものに我々の方法論自体が変わってきています。

——不完全な情報でも判断できる時代になったということですか？　まさに「データの時代」ですね。でも「データの時代」には負のイメージがあるんです。AIの進化についていけないというか…。仕事がなくなって生き残れなくなるというか。

伊藤　一部の職業は取って代わられるものであるかもしれませんが、生き残れなくなることはありません。人の働き方が変わるということです。機械にできないことはやはり残っていますから。人間は機械にできないことの方へ向いていけばいいのです。

——機械にできないことって何ですか？

伊藤　これもまた変わっていくと思いますが、単純作業はまず機械にはかなわない。でも意思決定という部分は、まだAIには完全にはできません。人間がそのようにプログラミングすればできますが、機械は自分では決められない。ものの本には「シンギュラリティ」と書かれていますが、AIがAIを作り出すようになったら全てのものが変わってしまうかもしれません。でも今のところ意思決定は人間にしかできません。機械は補助手段です。

——10年後になくなる職業というのが少し前に流行りました。国語研の田窪所長からうかがいましたが、自動翻訳は相当なレベルになっているそうですね。

伊藤　そうですね。ですから通訳はなくなるかもしれませんね。

——機械の学習能力ってすごいですね。

伊藤　普通は辞書や文法など教師データというものから推測して意味がわかるというのが言葉なのですが、デンソーとの共同研究で開発しているのが教師データのないものです。何もヒントがないのに、言葉の意味がわかっていく。つまり例えば宇宙人が来て何分か話していると意味がわかってしまうんです。このことについては私の後に持橋大地君という研究者が登場しますから、彼の専門なのでよく聞いてください。

——はあ…。

伊藤　他に最近力を入れているのが、例えば薬剤分子の設計。主に製造業を対象にして、機械学習の方法論で新しい薬剤を作る。新しい薬を作るというのは実際にやるとものすごくお金がかかりますでしょう。ですから、コンピュータ上で、今まで見つかっている、あるいは使っている薬剤のデータを化合物の化学式とか形のデータから、ある目的を達する薬剤がその辺りに存在するかという可能性を計算上でシミュレーションするということです。それで薬理活性や毒性が予測できます。これには教師となるデータがありますから、教師ありモデルといって、まだ見つかっていない埋蔵分子を探索することができますね。

——そう聞くと、明るい未来が見えてきます！

伊藤　サイエンスは基本的に明るいと思いますよ（笑）。極地研は我々が子どものころから慣れ親しんだサイエンスというイメージですが、統計数理は数学が入ってきますからちょっといわゆるサイエンスとは言い難いかな。数学とは何かと言うと、ガリレオ・ガリレイが「自然という書物は数学という言葉によって書かれている」と言ったそうですから、数学は言葉なんですね。それに対してカール・ピアソンという統計学の研究者は、「統計学は科学の文法である」と言った。数学だけでは言葉だけですが、文法があって初めて人に伝わります。数学と統計学はそんな関係です。

——よくわかりましたと言いたいところですが、この連載を通して統計数理を学びたいと思います。

連携は大丈夫か!?

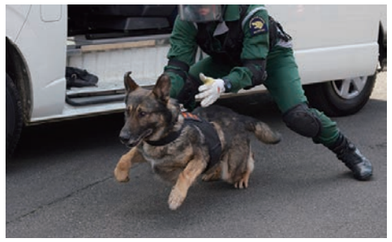
意図的災害を想定し、訓練を重ねる
――平成29年度方面救助救急訓練

公安調査庁の発表によれば2017年内に世界で起きたテロは115件。
うち20件は先進国と言われる国々で発生している。
いざという時のため、訓練は欠かせない。

写真：筑紫仁子、他

職質された不審車両が歩行者をはねた時点では、
まだテロとは判明していない。交通事故として救急車を要請。

犯人は刃物を振り回し、遠隔操作で車両を爆破。


警察は犯人逮捕のため、警察犬を投入。
警察犬は車を降りるなり犯人目指して走って行った。

さまざまなユニフォームが入り混じっての救助。

警察犬の活躍で犯人確保。

路上では事故による負傷者の手当て、搬送が行われ、
同時に車両やレストラン付近の安全を警察が確認する。

レストランや商店にいた人々が安全なところへ逃げる。

2018年2月15日、東京都多摩広域倉庫で平成29年度方面救助救急訓練が行われた。訓練は1時間。滞りなく連携し、多くの人を救ったかに見えたが、一般人にはわからない反省点も多かったようだ。

『市街地で不審車両を発見した警察官が職務質問をした。突然発進、逃走しようとした車は歩道上の歩行者をはね、レストランのオープンテラスに突入。車を運転していた犯人は刃物を持って暴れ出した。警察は警察犬を使って犯人を確保、しかし犯人は遠隔操作で車両を爆破。多数の負傷者が発生した』との想定で、訓練は始まった。

統裁者・東京消防庁第八消防方面本部長、統裁補佐・東京消防庁第八消防方面副本部長、東京消防庁第八消防方面警防・防災担当課長、実施責任者・立川消防署長、参加機関は、東京消防庁、警視庁立川警察署、立川市消防団、東京DMAT、民間救急隊、5機関116名。東京2020大会を前に、立川に多くの来街者が予想される。もしもの時には、この連携が人命を救う。

今回の訓練を統裁する阿部寛三第八消防方面本部長

レストランには大勢の負傷者が。

負傷者にトリアージタグがつけられ、重傷者にはタグ以外に赤いテープも巻かれる。こうした人たちは一早く救急搬送される。

車両から出た火が延焼しないよう、
消防団と消防署による消火活動が行われた。

負傷者の中には外国人も。
警察や消防署には、外国語に長けた署員がいるのだそうだ。

けが人も迫真の演技。

本部では運ばれてきた負傷者の情報が記録される。

特殊救急車　スーパーアンビュランス。

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 泉町・西砂町・一番町・上砂町・砂川町
柏町・幸町・若葉町・栄町・高松町 のお店です。

泉町
- 東京消防庁 立川消防署 526-0119
- Café はぁもにぃ♪ 512-7810
- 大和ハウス工業（株）多摩支店 525-1821

西砂町
- パティスリー ブルミエール 531-4835
- 砂川庵 甚五郎 531-6788
- 西砂歯科医院 531-4129

一番町
- 私立立川ひかり保育園 531-1273

上砂町
- B3+ギャラリーウェルメイド 538-7250
- fresh shop スーパーはしもと 536-2331

砂川町
- みのーれ立川 538-7227
- JA 経済センター 立川店 536-1824
- JA 東京みどり 立川支店 536-1821
- 陶工房 己流庵 537-6102
- たましん 砂川支店 535-4411
- 珈琲豆焙煎工房 まめ吉 535-1070
- BREAD & Sweets マニシェール 537-2202

柏町
- café de La Boum 534-6541
- 山梨中央銀行 立川支店 536-0871
- 株式会社 セレモア 534-1111
- 超こってりらーめん パワー軒 535-1665
- H.works 537-7763
- ベーカリー リオンドール 535-4882
- （有）まつい測量 534-4411
- ピーコック 玉川上水店 538-3861
- 菅家医院 536-4602

幸町
- 立川農産物直売所 536-2439
- いなげや 立川幸店 537-1820
- たましん 幸町支店 535-5311
- 中国料理 SANFUJI 536-3813
- 西武信用金庫 幸町支店 537-3101
- お米屋さん 大黒屋 536-0851
- （株）松浦商事 536-6001
- 江戸前・富山の魚と酒 緑寿司 536-4800
- 至誠キートスホーム 538-2323
- とんかつ・割烹 かつ亭 535-4611
- ドイツ製法ハム・ソーセージ ゼーホフ工房 535-5009
- 和洋菓子 たちばな 537-0347
- BS タイヤショップ 佐藤商会 537-0912
- 在宅療養支援診療所 立川在宅ケアクリニック 534-6964
- 古楽の小屋 ロバハウス 536-7266

若葉町
- レストラン サラ 534-0602
- 浅見内科医院 537-0918
- スーパー ヤオコー 538-1711
- ひとひとて 507-7352
- ありた整骨院 534-1622
- カフェ タイニーガーデン 507-1346
- カフェ・レストラン てくたく 536-5788

栄町
- たましん 栄町支店 536-9711
- いなげや 立川栄町店 523-7201
- ニュースサービス日経 立川中央 522-4507
- チーズ王国 本社 513-4101
- 高橋酒店 522-4479
- 彩食中華 須崎 507-0981
- 寝具の石川 524-1333
- 手作りパン工房 Bonheur ～ボヌール～ 536-3207
- FUKUSHIMAYA 立川店 534-1700
- 相模屋酒店 536-2476
- メンズカット ヤザワ 536-8738

高松町
- 大型コインランドリー マンマチャオ栄町店
- ルーデンス食堂

jorakugajo
真如苑提供番組〈常楽我浄〉
スカパー！：529ch
スカパー！で放送の常楽我浄は
スマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。
J:COM 多摩：111ch
放送時間については番組表をご確認ください。
www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

都知事賞受賞の山下明さん（右）

立川市うど品評会

2月16日（金）、立川市役所でうど品評会が行われました。会場には、生産者が丹精込めた立派なうどがずらり。東京都やJA全農の方などにより審査されます。大きさ、揃い、色、光沢、葉柄の長さ、曲がりの有無、傷の有無、折れなどの品質面に加え石づきの状態や外袋など総合的に評価され、東京都知事賞には山下明さん、立川市長賞には鴻地文武さんのうどが選ばれました。この日に合わせ素晴らしいうどを作るのは大変なことです。うど生産者は減りつつあると聞いていますが、ナシのような食感で瑞々しいうどを作り続けてほしいです。

2018年産ウドラ登場

立川市うど品評会のこの日、ウドラの新バージョンもお披露目となりました。2013年産のウドラに比べ、2018年産のウドラは短径？ 小ぶり？ 細身になった？感じがしますが、その分動きがよくこれからも東京うど宣伝のためにフットワークよく働いてくれることと期待します！

左のウドラが2018年産

ツクール、オープンしました

「Tschool」ツクールって、いい名前じゃありませんか！ ものづくり型創業支援施設です。創って学べて、また作り出す！モノづくりの街だった立川であればこその事業です。なかなかモノづくりで創業するのはむずかしい、そこを支援してくれるツクールには、3Dプリンター、レーザーカッター、塗装用エアーコンプレッサー、工業用ミシン、革漉き機、業務用刺繍ミシン…他にもまだまだいろいろ揃っています。こんなもの作りたいな～、こういうもので仕事してみたいな～と思ったら、ツクール。まずは相談に行ってみましょうか！立川市柴崎町2-7-9岩下ビルの1階と2階です。

オープニングセレモニーの様子

若手農家の農研会 がんばってます

2月8日（木）、みのーれ北側にある広場の一部を市民に開放して作物づくりを体験してもらうため、農家後継者の集まり「農研会」に所属する若手農家の皆さんが集まって畑の整備をしました。市が所有するこの場所は、もともとの農地ではないため、土を入れてもまた下から瓦礫や石が浮き上がってくるそうです。市民の皆さんが楽しく立川の農業に親しめるように、こうした土台の活動があるんですね！ みなさん、毎年、ありがとうございます。お疲れさまでした。

秋山エリカ先生の「運動教室」

3月5日（月）からアリーナ立川立飛で、全日本6連覇した新体操の元女王秋山エリカ先生の「運動教室」が始まっています。東京女子体育大学教授として後進の指導にあたられる秋山先生は、2020東京オリンピック・パラリンピック新体操強化委員でもいらっしゃいます。そんな秋山先生が考案したプログラムで行われる「運動教室」は、基礎的な前進運動や上半身下半身に集中した運動などで、全身の筋肉をほぐし正しい位置に重心が置けるように指導してくださいます。1つひとつの動きを説明してくださるので、納得しながら楽しく運動できます。まずは自分で動いてみましょう。お問い合わせ、お申込みは042-595-6821アリーナ立川立飛「運動教室」まで。

今月号の記事は、えくてびあんのブログ
「立川は Ecoutezbien えくてびあん」で詳しく

大相撲夏巡業 アリーナで！

3月2日（金）、立川市役所で大相撲夏巡業開催の調印式が行われました。今回の巡業は、8月22日(水)アリーナ立川立飛で開催されます。チケットの販売開始は4月13日（金）から、ショッパーチケットサービスで（0570-007-677）。今回も土俵づくりの体験ができるそうです。楽しみですね！

左から 清水立川市長、立飛HD村山社長、千田川親方

快晴の消防フェア

3月1日から7日まで行われていた「平成30年春の火災予防運動」の一環として開催された立川消防フェア2018。雨や寒い曇天がここ数年続いていましたが、今年は快晴。来場者も多く、文字通り大型体験イベントとなりました。立川消防署、東京消防庁航空隊、ハイパーレスキュー隊、立川市・国立市消防団、災害時救援ボランティア、立川・国立防火女性の会、立川消防少年団、七番組防災消防隊、立川市・国立市の市民防火組織が連携した消防演習。楽しみながら防火・防災を学ぶことができました。

おじゃましま～す！――[63]

桜乃 立川店

炭火焙煎珈琲

コーヒーのおいしいお店ですが、えくてびあん的には居心地のいいお店。水曜日から月曜日までは女性の店長がカウンターの向こうで笑顔を見せてくれますし、火曜日は人生の知恵袋みたいなロマンスグレーのマスターが、話の相手をしてくれます。実は、このお店のケーキや和菓子を作っているのはこのマスター。ケーキセットを注文するとケーキ以外にもうひとつおまけの和菓子がついてきます。「ひとつの味じゃつまらないかなと思って」と、スイーツ好きの気持ちをよくわかっていらっしゃる！ アイスコーヒーは黒い塗りの升に氷が敷き詰めてあって、その中にグラスが。でもこのグラス、動かそうと思ってもビクともしない。コーヒーは氷が融けても薄まらないようにできているので、途中からシロップを入れたりミルクを入れたり、暑い日にはコーヒー味の氷をボリボリそのままいただけて、いろいろに楽しめます。でもやっぱりホットがいいなあと好みの味を注文するとかわいい絵皿に、これまた手作りの生チョコがちょっとだけついてくる。こんな心配りをもう15年も続けているので、常連のお客様もたくさん。15年前はお母さんと一緒に来ていた坊やが、今は立派な青年になって1人で客席に。 月日が経っても、珈琲の味と心は変わらないお店です。

〒190-0012
立川市曙町2-42-23
TEL 042-521-7272

営業時間
11：00～20：00（L.O 19：30）
定休日 なし

表紙の人

荻田武男さん、輝子さん、武司（たけしま）さん
いずみさん、怜来（れく）くん

うど組合からご推薦いただいた荻田家。上砂町で13代目になる武男さんがお父様と始めたうど栽培はもう50年以上になりました。所沢の農家から嫁がれた輝子さんと営んでこられた農業も、今は息子さんの武司さんが跡を継がれています。生産量都内1位の立川でも、うどの生産農家は19軒しかないそうです。出荷したばかりでほとんどうどが残っていないというこの日、取り置いてくださったうどを怜来くんに持ってもらっての撮影となりました。怜来くんはうどが大好き。甘酢漬けとか酢みそ和えとかお味噌汁に入れたりとか、食べ方をいろいろ教えてくれました。でもうど室は危険なのでまだ入ったことがないのだとか。ママのいずみさんもお嫁に来て農業は進んで手伝うけれど、室にはやっぱりまだ入ったことがないそうです。怜来くん、この日は幼稚園で博士になったのだとか。いつか本当の博士になって立川の農業を守ってくれるかな。

かたこと

◆月刊えくてびあん、401号になりました。新しい幕開けです。いろいろな時がありましたが、それでも今年の夏には創刊35年を迎えます。ある方が「立川にあるタウン誌を集めてきていますが、今も残っているのはえくてびあんだけです」とおっしゃってくださいました。創刊号から全部お持ちとは驚きです。こうした応援のおかげで今があります◆寄稿してくださる皆様にも感謝です。現在連載中の「続・砂川深層」。豊泉喜一さんのお話は、昔を知らない人たちには驚きや発見の連続です。好評の中に16回まで続けましたが、一旦お休みを頂戴し、また改めて対象を立川全地域に広げてお届けしたいと思っています。来月が最終回、お見逃しなく◆ある新聞記者が「ジャーナリストと呼ばないでください。私は新聞記者です」と。SNSが進化して1億総ジャーナリスト時代。自ら宣伝し写真と共に記事も挙げる。ネットの中は情報で溢れています。取材に基づかない情報発信が渦巻く中、「ジャーナリスト」という言葉で括られたくなかったのかもしれません。えくてびあんも紙媒体であることにこだわって、人と関わり、1枚の写真を吟味して、文字数に悩まされ言葉を選ぶ時、制限の多い紙である幸せを感じます◆人がいて街は輝きます。人の心に寄り添って、笑顔いっぱいの立川を、これからもえくてびあんはお届けします。 えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ©
4月号 第35巻 通巻401号

平成30年4月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://ecoutez.exblog.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

（左）#2 齋藤拓実選手
（右）#13 菊地祥平選手

Tasty! 立川スイーツ……③

今月のスイーツは、立川お土産推奨品の中から、パレスホテル立川のパレスベーカリー「立川ロール」と「多摩みるくダックワーズ」をご紹介。「立川ロール」には立川産の100%はちみつを生地と生クリームの両方にたっぷり使っています。「多摩みるくダックワーズ」には、多摩の牛乳「東京牛乳」に砂糖を加えてじっくり煮詰めたミルクジャムが。食べるのはおなじみになりました。日本スイーツ協会から認定されたスイーツコンシェルジュ スペシャルアンバサダーのB リーグ アルバルク東京 #13 菊地祥平選手。生クリーム大好きな菊地選手にはぴったりのお菓子、「立川ロール」はひとりで1本いけるそうです。

お相伴は、#2 齋藤拓実選手。やっぱり甘いものがお好きなのだそうです。立川ならではのケーキ「ミュージアム・アート」も一緒にお持ちすると、齋藤選手「アポロの香りがする!」と。そうです、ストロベリーチョコレートを吹き付けてあるのです。これはファーレにあるジャン・ピエール・レイノーの作品「赤い植木鉢」から連想した少し甘酸っぱいケーキ。あっという間のティータイム、おいしかったそうですよ。

立川ロールと多摩みるくダックワーズ、どちらもしっとりしていると齋藤選手のコメントでした。

赤い植木鉢 ミュージアム・アートから。それほど酸っぱくもなくて、おいしいと菊地選手。